



医科との連携による適切な歯科診療環境の整備

—HIV陽性者の歯科診療の一般化を目指して—

研究分担者 宇佐美 雄司

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科 医長

研究要旨

以前からの継続活動として、HIV感染者に歯科治療を提供できる環境整備のため、歯科医療従事者の啓発と現実的対応としての拠点病院と連携する歯科医院の確保、すなわち、歯科医療ネットワークの構築を目指してきた。しかしながら、2021年度もCOVID-19のため、対面での協議会や講習会の開催は困難となり、大部分がオンラインでの開催となった。また、2018年度から実施している全国の都道府県歯科医師会を対象にした調査を、本年度も行なった。COVID-19のため活動の制限があったにもかかわらず、「HIV陽性者の歯科医療体制」の整備は、いくつかの県において進んだと評価できた。ただし、調査開始以来、対応が進まぬ特定の地域が浮き彫りになってきたので、それらの地域に対する働きかけが次年度は課題のひとつであろう。

さて、長年の啓発活動の経験から自発的参加に頼る講習会等の開催だけでは全国、津々浦々の歯科医療従事者を啓発することは困難と考える。しかし、2016年以来、「HIV感染者の歯科治療ガイドブック」などの冊子等を作成し、全国配布したことにより啓発活動としては一段落したともいえる。HIV陽性者の歯科診療を担うにあたり、今や最大の障害は心理的なものと推測される。そこで、それを払拭するための啓発ツールの作成を企画した。すなわち、HIV陽性者の歯科診療の経験のある歯科医師の体験談を取り纏め、HIV陽性者の歯科診療に躊躇している歯科医療従事者の背中を押すことができるような冊子の作成を目指した。今後は医療として本来の姿である「HIV陽性者の歯科診療の一般化」の達成を明確な目標としていきたい。

A. 研究目的

ARTを受けているHIV感染者（以後、HIV陽性者と称す）が普通に歯科医院を受診し診療を受けられる環境の整備が本来の目的と考えている。ただし、現実的かつ暫定的対応として、拠点病院等と診療連携し、HIV陽性者の受入れに対応する歯科医院の確保を目指す。

B. 研究方法

1. 講習会等による歯科医療従事者の啓発活動

毎年、ブロック拠点病院の歯科関係者（研究協力者）により、講習会、研修会などの啓発活動を企画している。そして、その啓発活動を通じてHIV陽性者の受入れに協力する歯科医院の確保をする。

2. ブロックごとのHIV歯科医療連絡協議会の実施

HIV陽性者の歯科診療の受入れ状況は、今でも都道府県により温度差がある。そこで、全国均てん化のために、ブロック拠点病院の歯科関係者が都道府県歯科医師会代表者などの参加を募り、ブロック単位でのHIV歯科医療連絡協議会等を開催する。

3. HIV陽性者の歯科診療受入れ体制に関する全国調査

2018年度から実施している都道府県歯科医師会を対象にしたHIV感染者の歯科医療体制整備の状況について、2021年度も調査を行う。

4. 全国のHIV陽性者の歯科医療関係者との活動報告会の実施

毎年、ブロック拠点病院の歯科代表者らと活動報告会を行っている。2021年度も活動報告会を行い、

研究分担者の活動の方向性等の共有、およびブロック単位の活動状況に関して情報を交換する。さらにHIV陽性者の歯科医療に関わっている歯科関係者への周知をはかりつつ、一般の意見等を収集する。

5. 体験記の作成、配布

HIV陽性者の歯科診療を受け入れている開業歯科医師の体験談を編纂し、啓発ツールとして全国の歯科医師に配布する。

(倫理面への配慮)

本研究で実施した調査には患者個人情報に関わるものは全くない。また、教育・研修に用いる資料においても個人が特定できないように十分な注意をした。なお、体験記作成にあたっては、開業歯科医師にはあらかじめ研究の主旨を説明し、承諾を得た。さらに監修時に氏名等個人情報に関わるものは匿名化し、倫理面での問題が生じないように配慮した。

C. 研究結果

1. 講習会等による歯科医療従事者の啓発活動

毎年、ブロック拠点病院の歯科部門と地域の歯科医師会が協働で講演会、研修会等が開催されてきた。しかし、昨年度より新型コロナウイルスの感染拡大により、ほとんどのブロックではオンラインによる実施となった(表1)。ただし、感染が鎮静化した一時期に中国・四国ブロックの会合のみが感染対策に配慮し対面式で実施された。

2. ブロックごとの HIV 歯科医療連絡協議会の実施

講習会等の開催と同様に、新型コロナウイルスの感染拡大により、関係者が集まり協議できたのは、中国・四国ブロックのみであった。北海道、東北、北関東甲信越ブロックはオンラインで協議会(情報

交換会)を実施している。

3. HIV 陽性者の歯科診療受入れ体制に関する全国調査

本調査を開始して4年目となった。2021年度の結果の概要を図1に示す。HIV陽性者の歯科診療に何らかの対応をしているとの回答があった都道府県は、2020年度は31地域であったが、今年度は35地域(青、緑、黄緑で表示)に増加した。しかしながら、依然と「協議中」のままの府県が10地域(黄色で表示)残っていた。さらに本活動の「HIV陽性

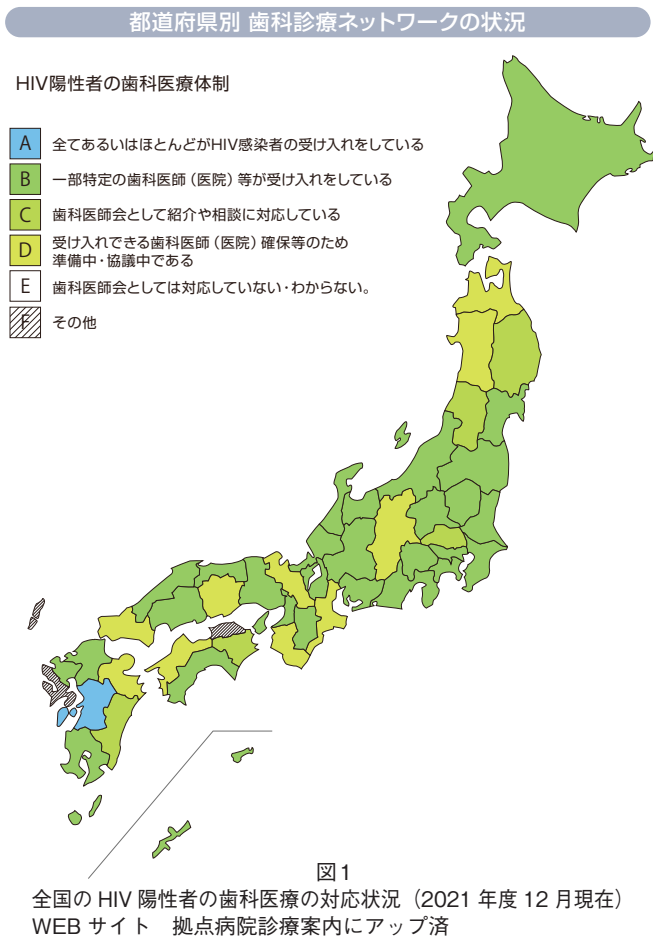


表1 2021年度のブロック別の活動状況(講習会および連絡協議会) 都道府県単位以上のものを掲載

ブロック	講習会・研修会	開催日	場所(様式)
北海道	令和3年度第1回北海道HIV/AIDS 歯科医療連絡協議会	2021年5月7日	WEB配信
	第17回北海道HIV/AIDS 歯科医療研究会	2022年2月5日	WEB配信
東北	令和3年度東北HIV/AIDS 歯科拠点病院等連絡協議会	2022年1月22日	WEB配信
関東甲信越(首都圏)	2021年度北関東甲信越ブロック HIV 感染者の歯科医療情報交換会	2021年10月10日	WEB配信
	新潟県歯科医師会 HIV 医療講習会	2022年2月3日	WEB配信
	令和3年度東京都歯科向け HIV/AIDS 講習会	2022年2月21日	WEB配信
北陸	令和3年度北陸地区 HIV 歯科診療情報交換会・研修会	2022年2月13日	WEB配信
近畿	大阪府 HIV 感染者等歯科診療連携体制構築事業における協力歯科診療所向け集会	2021年11月27日	WEB配信
中国四国	第12回中国・四国地方 HIV 陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議	2021年10月24日	岡山国際交流センター
	令和3年度広島県歯科医師会の会員・準会員のための HIV 感染症に関する講習会	2021年11月28日	安佐南区民文化センター

者の歯科診療を一般歯科医院で」という主旨を理解いただいていないと判断する回答が2県（斜線で表示）あった。今回の結果で、特記すべきは「全ての歯科医院が受け入れる」との回答が熊本県から寄せられたことである。各都道府県の具体的状況は表2に示した。なお、この結果はWEBサイト「拠点病院診療案内」にアップし公開している。

4. 全国の歯科診療受入れ体制に関する活動報告会の実施

従来は研究会として対面で開催していた。今年度は、当初から新型コロナウイルス感染のことを考慮し、オンライン配信で2021年12月19日、日曜日に実施した。従来の参加者はブロック拠点病院の歯科

関係者とHIV陽性者の歯科診療を担っている開業歯科医師程度であった。しかし、今年度の参加者（視聴者）の3割は行政の関係者であった。

5. 体験記の作成、配布

現在、HIV陽性者の歯科診療を実践している東京都、神奈川県の開業歯科医師にオンラインで体験記作成の主旨を説明し、協力を要請した。そして、承諾いただいた12名の歯科医師から、HIV陽性者を診療することになったきっかけ、スタッフの反応などについてインタビューフォームに回答してもらった。なお、多くの歯科医師が実名等記載されても構わないとの意向であったが、情報として提示するものを除き監修の段階で個人情報等は匿名化した。

表2 都道府県別のHIV陽性者の歯科医療の対応状況（各歯科医師会の回答より作成）

都道府県	都道府県	名前	運用窓口等	連絡先等
北海道	B	北海道HIV歯科医療ネットワーク構築事業	北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学 分野口腔診断内科学教室	011-706-4280 E mail: os1@den.hokudai.ac.jp
青森	D			
岩手	C		岩手県歯科医師会事務局	019-621-8020,kenshika@iwate8020.or.jp
宮城	B	宮城県HIV歯科ネットワーク	宮城県歯科医師会	022-222-5960 E mail: info@miyashi.or.jp
秋田	D			
山形	C		山形県歯科医師会	023-632-8020 E mail: keishi@gaea.ne.jp
福島	B	福島県エイズ歯科診療ネットワーク事業	福島県歯科医師会(福島県と福島県歯科医師会が名簿を管理)	024-523-3266 E mail: info@fda-online.or.jp
茨城	B	HIV感染者歯科治療協力医院	茨城県歯科医師会	029-252-2561 E mail: office@ibasikai.or.jp
栃木	B	栃木県エイズ歯科診療紹介事業	栃木県歯科医師会、栃木県保健福祉部健康増進課	歯科医師会:028-648-0471 増進課:028-623-3089
群馬	B	群馬県HIV感染者等歯科診療連携事業	群馬県および群馬県歯科医師会	027-252-0391 Email: gunsi@xp.wind.jp
埼玉	C		埼玉県歯科医師会口腔保健センターもしくは埼玉県庁保健医療部感染症課、健康長寿課	
東京	B	東京都エイズ協力歯科医療機関紹介事業	東京都歯科医師会	03-3515-2099
千葉	B	千葉県エイズ協力歯科医療機関紹介制度	千葉県歯科医師会	043-241-6471 E mail: office@cda.or.jp
神奈川	B	神奈川県HIV歯科診療ネットワーク	神奈川県歯科医師会	045-681-2172
山梨	B	(HIV医療連携協力歯科医療機関)	山梨県歯科医師会(医療連携室)	055-252-6481 E mail: info@yda.jp
長野	D			
新潟	B	新潟県HIV感染者等歯科診療ネットワーク事業	新潟大学医学部総合病院 歯科(顎顔面口腔外科学分野)	025-227-2885 E mail: hiv-support@dent.niigata-u.ac.jp
富山	B	北陸ブロックHIV歯科医療ネットワーク	富山県歯科医師会事務局	076-432-4466
石川	B	北陸ブロックHIV歯科医療ネットワーク	石川県立中央病院 歯科口腔外科	076-237-8211(内1134) E mail:kouku@jpch.jp
福井	B	北陸ブロックHIV歯科医療ネットワーク	福井県歯科医師会	0776-21-5511 E mail: fda@fda.or.jp
岐阜	B	岐阜県HIV歯科診療ネットワーク	岐阜県歯科医師会	058-274-6116 E mail: office@gifukenishi.or.jp
静岡	B	静岡県HIV歯科診療ネットワーク	各郡市区歯科医師会	
愛知	B	愛知県HIV歯科医療ネットワーク	名古屋医療センター 歯科口腔外科	052-951-1111 (内2538)
三重	D			
滋賀	B	滋賀県HIV感染症歯科診療ネットワーク	滋賀県歯科医師会	077-523-2787 E mail: sda@shiga-da.org
京都	D			
大阪	B	大阪府HIV感染者等歯科診療連携体制構築事業	大阪府歯科医師会 学術地域保健課	06-6772-8885
兵庫	B	兵庫県HIV感染症協力歯科診療所システム	兵庫県歯科医師会	078-351-4181
奈良	B	(名称はなし)	奈良県歯科医師会	0742-33-0861 E mail: jimukyoku@nashikai.com
和歌山	D			
鳥取	B	鳥取県HIV歯科診療ネットワーク	鳥取県歯科医師会	0857-23-2621 E mail :kenshi@ttrda.jp
島根	B	島根県HIV歯科診療ネットワーク	島根県歯科医師会	0852-24-2725 E mail :info@shimane-da.or.jp
岡山	D			
広島	B	広島県HIV歯科診療ネットワーク	広島県歯科医師会事務局	082-263-8020 E mail: info@hpda.or.jp
山口	D			
徳島	C	徳島県歯科医師会HIV感染者歯科診療紹介システム	徳島県歯科医師会(在宅歯科医療連携室)	080-2987-4838 E mail: zaitaku-pc@tda.or.jp
香川	F			
愛媛	D			
高知	B	高知県HIV陽性者歯科医療ネットワーク	高知大学医学部附属病院 歯科口腔外科	088-880-2422 E mail:im40@kochi-u.ac.jp
福岡	B	HIV診療広域ネットワーク	福岡県歯科医師会(医療管理部担当)	092-771-3531 E mail:fda.jimu_jiryokanri@fdanet.or.jp
佐賀	B	名称はなし	佐賀県歯科医師会(経営管理部)	0952-25-2291, E mail:sda@ia7.itkeeper.ne.jp
長崎	C(F)		長崎大学病院	095-819-7200
熊本	A			
大分	D			
宮崎	C		宮崎県歯科医師会	0985-29-0055 Email:mda-2@miyazaki-da.or.jp
鹿児島	B	HIV感染者歯科診療ネットワーク	鹿児島県歯科医師会	099-226-5291 E mail:iryoo@8020kda.jp
沖縄	B	沖縄県歯科診療ネットワーク	沖縄県歯科医師会	098-996-3561 E mail:okisi@okisi.org

作成した体験記「HIV陽性者を歯科医師が診るといこと」（図2）は日本歯科医師会の協力をいただき都道府県歯科医師会を通じて、全国に配布する手順である。

D. 考察

2021年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、対面式の協議会や研修会の開催は著しく制限された。その代替策としてのオンラインによる会合や研修では、臨場感が乏しいことは否めない。しかしながら、活動報告会で明らかになったように、開催する日時や場所の制約が少ないため、より広い範囲（職種）と情報共有が可能となることを実感した。啓発活動の効果、目的を踏まえ、今後はオンライン

形式を生かした企画をすべき考えられた。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛から、歯科医療ネットワークの構築が遅滞すると予想した。しかしながら、2021年度の調査では体制整備の進んだ地域は4県増えた。調査を毎年行っていること、WEBサイトに結果を公開していることなどが、都道府県歯科医師会に対してHIV陽性者の診療体制整備に取り組む姿勢を継続させているものと期待を込めて理解したい。しかしながら、2021年度の回答でも進展の乏しい地域は相変わらずであった。それらの地域への働きかけについては、行政関係者も巻き込んで、ブロック拠点病院の歯科関係者などと協働し啓発していくことが必要であろう。

その他	補足
病院歯科6機関、歯科診療所41機関	
	暫定的に歯科医師会が窓口。協議は令和2年度より新型コロナのため中断。
	必要に迫られた状況になく、実態も不明であるが、ほとんどが大学病院歯科での治療となっていると思われる。今後は状況を見て、歯科医師の確保を考えていきたいと思う。
14歯科医院	
暫間的相談窓口として歯科医師会が対応	今までに治療の問い合わせなし
56歯科医院	年間0～3件の紹介事例あり。地域の偏在解消に向けて検討予定。
20歯科医院	拠点病院から直接歯科医院へ連絡する。
29歯科医院	
27歯科医院	群馬県から県内の拠点病院にリストが提供。患者からの相談は県歯科医師会医療相談などで対応
100歯科医院	
31歯科医院	
48歯科医院	
25歯科医院	
	長野県と協力してネットワーク作りを進めてきたが、コロナ禍のため滞っている。
44歯科医院 2病院歯科	
5歯科医院	
18歯科医院	
6歯科医院	
11歯科医院	名古屋医療センター 歯科口腔外科でもリスト保管
134歯科医院	
49歯科医院	
25歯科医院	県行政、地域病院と協議の結果、早急の必要性を求められることが少なかった。
	ネットワークの構築には行政の協力も必要であり、働きかけを行っている。協力が得られ次第、構築を速やかに行う予定。
175歯科医院	
145歯科医院(2020年)	
108歯科医院	
	針刺し等の曝露時に服用する薬剤を県に準備してもらう予定だったがコロナ禍でストップしている。暫定的窓口として県歯科医師会事務局が対応、仲介した。
37歯科医院	
56歯科医院	
	新型コロナ感染拡大により検討会・集会等ができなかった。新年早々、講演会等を開催し理解を深め、新型コロナ感染収束後に集会を開催予定。アンケート中に初めて歯科医院紹介の問い合わせ
159歯科医院	
	ネットワーク構築のため準備、協議を山口県歯科医師会医療管理委員会が対応
	啓蒙活動は継続するがネットワークは難しい。各医院にて対応するという立場。協議は継続する。
	2021年度中にネットワーク構築予定
50歯科医院	
145歯科医院	
7歯科医院	
	問合せがあった場合には長崎大学病院を紹介する。プライバシーを守るという問題から、ネットワーク構築には至っていない。歯科医師会としては紹介は行っていない。歯科医師会会員には標準予防策の周知徹底を指導しているので、HIV陽性者やHIV診療専門医には各歯科医院に直接連絡してもらう。
	研究会を開催予定
	中核拠点と連携予定
22歯科医院	
15歯科医院	沖縄県地域保健課、沖縄県歯科医師会、エイズ拠点病院と協同のもと構築

HIV 陽性者を 歯科医師が診る ということ

（東京・神奈川編）



厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究
「歯科の医療体制整備に関する研究」

図2 体験記「HIV陽性者を歯科医師が診るということ」

さて、2016年の「HIV感染者の歯科治療ガイドブック」、2019年の「歯科衛生士のためのHIV/AIDS読本」などの作成により、歯科診療のための啓発活動は一段落したと考える。そして、最近の講演、講習会では特にU=Uを伝えることに配慮し、HIV陽性者への歯科医療提供に参加してもらうことを呼びかけてきた。多くの歯科医療従事者が、いわゆる「頭では理解している」ようになってきたと推測する。しかし、実際にHIV陽性者の歯科診療の受入れの可否には心理的問題が大きいようである。そこで、すでにHIV陽性者の歯科診療を行っている一般歯科医院の歯科医師の体験談を啓発ツールとして冊子に取り纏めた。その内容には医療従事者として偏見と差別を払拭することは当然であり、しかもHIV陽性者の歯科診療には何ら特別なことはないことが、一般の歯科医師の目線で披露されている。協力いただいた先生方の存在は研究分担者として心強く感じた。そして、本冊子は今後の活動の強力な支援になり「HIV陽性者の歯科診療の一般化」に近づくことができると信じている。

E. 結論

オンラインによる情報発信は、HIV/AIDSに関する情報を全国に伝えるためには、むしろ有効であることが確認できた。今後はオンラインに適した情報発信を企画するべきと考えた。また、体験記の全国配布により、本活動の目標が「HIV陽性者の歯科医療の一般化」であることを明確に示すことができたと思われる。依然と、地域による温度差があることは否めないが、全国調査が示すように進歩した地域もあり、さらに目標達成に近づけるものと確信している。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 原著論文・著書

なし

2. 口頭発表

- 1) 宇佐美雄司、萩野浩子、横幕能行. HIV陽性者の歯科医療整備に関する7年間の活動について 第35回日本エイズ学会、2021年11月、東京（WEB開催）
- 2) 荒川美貴子、宇佐美雄司、森下 遥、丸山紗季、萩野浩子. 抗レトロウイルスウイルス療法中に生じた口蓋カポジ肉腫の一例 第66回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2021年11月、仙台（WEB開催）

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし